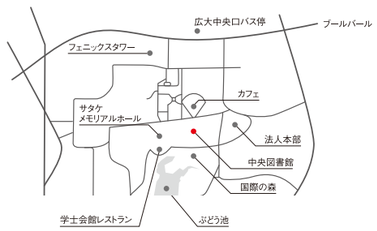
パシャリ。広大

「平和行進曲像」林世宝 作

中央図書館、入って右手に進んだ先に佇むオブジェ。使用されたペニー（硬貨）は百万枚にも及びます。人種や民族の違いを超えて、さまざまな人々の協力のもと集められ、創り上げられたこの作品は、人類が心を一つに合わせて生きていく方法を私たちに問い掛けています。



100年後にも世界で光り輝く大学へ

広島大学

編集・発行：広島大学 財務・総務室 広報部 広報グループ
〒739-8511 東広島市鏡山1-3-2 TEL：082-424-6762 FAX：082-424-6040
E-mail：koho@office.hiroshima-u.ac.jp
https://www.hiroshima-u.ac.jp

HU-plus

May 2019 05
広島大学広報誌 vol.09
Hiroshima University Magazine

負けんけんね！広大

［学長対談］
人間関係を築く力は勉学と同様に大切だ
漫画家 弘兼 憲史氏 × 広島大学 学長 越智 光夫

［特　集］
広島大学の足跡をたどる
平成から令和へ

散詩語録
Message from President

歴史はつながり、ひょっこり顔を見せる。

昨年10月、台湾教育部の「台湾を代表する国立台湾大学、国立交通大学、国立中山大学、国立成功大学を学長として訪れ、直接に対話することでさらなる連携を深め、将来の方向性を共有してほしい」という招待を受けました。北から、まず台北市内にある国立台湾大学を訪問しました。

台北市内には明治の日本統治時代に建てられたレトロな西洋建築が数多く残っています。その一つ国立台湾大学医学院（医学部）の医学人文博物館を案内していただきました。思わず、1枚の人物パネルに目が釘付けになりました。広島大学の大先輩、河石九二夫先生のお名前と写真が展示されていたからです。

国立台湾大学は1928年に創設された台北帝国大学を前身としています。河石先生は第２次大戦末期の1944年から1945年にかけて、医学部付属病院の第4代院長を務められました。博物館の方に先生が院長として台湾医学の発展に大きな足跡を残されたことを伺うことができました。

戦後、日本に戻られた河石先生は、広島大学医学部の前身である広島医科大学の学長を経て本学医学部第二外科教授、初代医学部長（1953年～1956年）を歴任され、広島大学医学部の土台づくりに大きな貢献をされました。国際交流が活発で、学術的に高い評価を受ける現在の医学部の礎は、この時期に確固として築かれていたのです。

私にとって、台湾の地で河石先生の業績の一端に触れることができたのは、予期せぬうれしい発見でした。広島大学と国立台湾大学は、2014年に大学間協定を結び、研究連携や学生交流を行っています。また、2018年には私が世話人となり、日台双方の諸大学が参加した日台大学学長フォーラムを、本学が当番校となって広島で開催しました。実は、そのはるか70年も前から、日本と台湾を隔てる東シナ海を跨いで、広島大学と国立台湾大学の関係はすでに築かれていたわけです。

ややもすれば、現代人は、自分だけで自分の意思のままに生きているように考えがちです。しかし父母や祖父母、祖先がいて、今の自分という存在があるのです。周りの人々に支えられ相互に連携し合いながら、私たちは、歴史の網目の中でつながり生かされています。現在に過去が息づき、歴史が未来につながっていくことにあらためて気付かされた旅でした。

生きていると、時に、過去と現在がつながり、歴史の連続性がひょっこりと、顔を見せることがあります。

越智 光夫

“The true meaning of history is that each dot between the past and present gets connected”

Last October, I visited Taiwan at the invitation of the Taiwanese Department of Education. The letter of invitation requested me to visit each of the following universities: National Taiwan University (NTU), National Chiao Tung University, National Sun Yat-sen University, and National Cheng Kung University, in order to have face-to-face talks with each respective University President about a mutual future direction, thereby enhancing collaboration with Hiroshima University (HU).

The City of Taihoku still has many western-style architectural buildings which were constructed during the Japanese reign of Taiwan in the era of *Meiji*. One such building is the NTU’s College of Medicine’s Museum of Medical Humanities, of which I was fortunate enough to have a guided tour. In the museum, I was transfixed by one wall panel with the name and photo of Dr. Kunio Kawaishi, who was in fact an ex-professor of HU.

NTU has its origins in the Taihoku Imperial University, which was founded in 1928. Dr. Kawaishi served as the 4th Director at the Taihoku Imperial University Hospital between 1944 and 1945 in the final days of World War II. According to staff at the museum, Dr. Kawaishi greatly contributed to the advancement of medicine in Taiwan during his directorship.

At the end of the war, Dr. Kawaishi came back to the city of Hiroshima, he served first of all as President of Hiroshima Medical College and then as Professor of surgery, and finally as Dean of the School of Medicine (1953-1956). It was during these years that he greatly contributed to laying down the foundation of the HU Medical School. The current renowned Medical School, i.e. globally active in academic exchanges and highly acclaimed, was firmly established in the days of Dr. Kawaishi.

It was an unexpected and pleasant surprise for me to discover some of Dr. Kawaishi’s accomplishments in Taiwan. In 2014, HU and NTU signed an inter-university agreement, which led to ongoing research collaboration and student exchanges between the two institutions. Moreover, in 2018 I became Chairman of the Japan-Taiwan University Presidents’ Forum, which included many participating universities from Japan and Taiwan. This Forum was held in Hiroshima city, with HU acting as the host university. In actual fact, the institutional relationship across the East China Sea between HU and NTU was established more than 70 years ago, which of course was a considerable period of time before the above agreement was sealed.

People nowadays are prone to believing that they are in control of their own lives, free to live however they see fit. However, gratitude to parents, grandparents and ancestors should not be forgotten, since in many respects one’s current life is indebted to this past. We are all connected through the web of history, supported by and interconnected with those people around you. The trip to Taiwan made me realize once more that under the surface of the present dots lie the seed of the past dots, which will eventually get connected to those in the future.

In our lives, there are times when each dot between the past and present gets connected, resulting in historical continuity suddenly becoming clear in front of our eyes.

あなたにプラス　あなたとプラス
HU-plus
May 2019 05
Hiroshima University Magazine
広島大学広報誌 vol.09

【Hiroshima University】の魅力や情報をあなたに“プラス（＋）”、【HU】とあなたが“つながる（＋）”という願いを込めて。

今月の特集「平成から令和へ」にちなみ、広島大学の歴史を感じるさまざまな写真をコラージュ。懐かしい1枚がある方もいらっしゃるのではないでしょうか。

CONTENTS

01 散詩語録
03 学長対談
漫画家 弘兼 憲史氏×広島大学 学長 越智 光夫
07 特集 平成から令和へ
11 学問の探求
安達 伸生 教授　大学院医系科学研究科
出口 達也 教授　大学院教育学研究科
13 AERAが書く、研究者の素顔
水沼 正樹 准教授　大学院統合生命科学研究科
15 チーム広大潜入REPORT
石田 洋子 研究室　教育開発国際協力研究センター（CICE）
市川 貴之 研究室　大学院工学研究科/自然科学研究支援開発センター
17 ぶちおもしろい広大講義
vol.1 睡眠の科学
18 世界へのまなざし
西谷 元 教授　大学院社会科学研究科
金 智英 さん　教育学部
19 学生レポ！私も広大です
迫田 孝也 さん　俳優
新延 聡子 さん　広島テレビ放送株式会社 取締役
21 キャンパスNOW
CLOSE UP！部活＆サークル
22 HIRO-DAI HEROES
北村 拓也 さん　第15回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会 大賞受賞
齋原 みず稀 さん 日本サッカー協会なでしこリーグ特別指定選手
23 HU-style
vol.9 教えて先輩！大学生活スタートダッシュ★～新入生への13のアドバイス～
25 HU TOPICS
27 つながる！ひろがる！ひろしまの輪
東広島 ひとむすび
大学院工学研究科 角倉 英明 研究室×しおた工務店
28 Reader’s View／読者プレゼント
29 広島大学への寄附・基金

広島大学公式SNS
広島大学（Hiroshima University）
@Hiroshima_Univ
hiroshima_univ

プロモーションビデオ公開中
広大PV

広大の入試情報を配信中
［登録方法］「友だち追加」からQRコードを読み取って登録！

取材で得た知見も全て生きている。
サラリーマン時代の経験も
生み出す仕事がしたくて、漫画家に。

漫画家
弘兼 憲史

1947年生まれ。山口県岩国市出身。早稲田大学法学部卒業後、1970年より松下電器産業（現・パナソニック）に3年間勤務。1974年に『風薫る』で漫画家デビュー。代表作は『人間交差点』、『課長 島耕作』、『加治隆介の議』、『黄昏流星群』。『島耕作』シリーズは1983年『課長 島耕作』の連載開始から現在まで続いている。2007年紫綬褒章を受章。

漫画家・弘兼憲史氏と語る

人間関係を築く力は勉学と同様に大切だ

漫画家 弘兼 憲史氏 × 広島大学 学長 越智 光夫

特別講義「世界に羽ばたく。教養の力」の講師として教壇に立っていただいた
弘兼憲史氏と越智光夫学長が対談。
漫画『島耕作』シリーズが誕生するまでの人生を振り返り、
今を生きる学生に向けてアドバイスをいただきました。

真似ることが上達の近道

越智：本日は広島大学にお越しいただき、ありがとうございます。まず、弘兼さんの生い立ちをお聞きしたいのですが、ご出身は山口県岩国市ですね。

弘兼：はい。広島とはなじみがあって、中高生の頃に広島市内の70ミリの映画館に約40kmの道のりを自転車で行ったり、高校3年の夏休みには、夏期講習で予備校に行ったりしていました。

越智：幼少期から漫画に親しまれてこられたのですか？

弘兼：手塚治虫さんが好きで『ぼくの孫悟空』や『鉄腕アトム』を真似（まね）て描いていました。その絵を見た母親が絵画の個人レッスンをつけてくれて、幼稚園から小学3年生まで約4年かけてデッサンから油絵、水彩画、彫刻まで一通り習いました。ただ、全部漫画みたいな絵になってしまい、先生に怒られるので、嫌気がさしてやめました。今度は「中学受験しなさい」と言われて、塾通いと家庭教師の指導に追われる毎日。その合間に家でずっと漫画を描いていました。

越智：すると小学校時代は漫画を描きながら受験勉強も？

弘兼：はい。夏休みの1カ月で手塚治虫『地球大戦』という約100ページの漫画をそっくりに描くという完全模写をしました。模写を通して、物語のテンポや白黒の使い方を自然に学べたんですよね。だから真似をすることは、実はとても大切なことだと実感しました。いろいろなものを見て真似をして、それから自分のオリジナリティができますからね。

越智：同感です。すぐにオリジナリティを求める今の風潮には賛同しませんね。学ぶというのは真似をすることから始まるものですから。中学高校時代はどのように過ごされていましたか？

弘兼：当時はまだ珍しい中学受験を経験して、地元の高水高等学校付属中学校に入学しました。中高一貫校で高校受験がないため、自由に過ごしていましたね。大学受験は都会を求めて東京の早稲田大学と慶應義塾大学を受験しました。

松下幸之助さんのオーラ

越智：早稲田大学の法学部で学ばれたと。

弘兼：学部にこだわりはありませんでした。自分の将来を明確に見据えて大学に入る人は意外と少ないと思うんですよね。僕の場合、合格したのがたまたま法学部だった。だから法律家になろうとは思っていませんでした。大学では漫画研究会に入部して、漫画を描いていました。そのころは漫画家になる気はありませんでしたので、就職活動期になると、自分の絵が生かせる広告関係の職業を目指すように。当時広告を幅広く打ち出していた松下電器産業（現・パナソニック株式会社／以下、松下電器）、サントリー、資生堂の3つに絞って就職活動をし、松下電器に入社しました。

越智：なぜ松下電器を選ばれたのですか？

弘兼：最初に採用通知が来たからです。就活生は青田買いの時代で、多くの会社の募集が7月開始の中、メーカーは5月ごろに始めるところが多く、その時すでに採用通知が届いたので、ここにしようと。松下幸之助さんにも会えるぞという期待もありました。

© 弘兼憲史／講談社

「島耕作取材からみる日本の未来」をテーマに、学生たちに講演

広島大学 学長
越智 光夫

1952年生まれ。愛媛県今治市出身。広島大学医学部卒業後、整形外科に入局。1995年島根医科大学教授に就任。2002年広島大学大学院医歯薬学総合研究科教授に就任。膝軟骨損傷の患者から採取した細胞を培養し、患部に移植する三次元自家培養軟骨移植を開発した。2015年紫綬褒章を受章。

現実的なステップアップが重要。
やみくもな行動ではなく、
学びは真似をすることから。

越智：入社後、本社で、松下幸之助さんに直接お会いされた時は、どんな印象でしたか？

弘兼：やはり特別なオーラを放っておられるように感じましたね。本社の社員全体に向けたお話を伺う機会もありました。また、僕の所属する企画部は会長室と同じ3階にあって、時々出会うのですが、みんな足が止まって「ハッ」とした表情で挨拶をしていました。直接会話したことはありませんが、近くで見かけるだけで緊張する別格な存在でしたね。僕はあまり緊張することはないのですが。

越智：それはなかなか貴重なご経験でしたね。

再燃する漫画への思い

越智：松下電器に3年間お勤めになられてから、なぜまた漫画家を目指されたのですか？

弘兼：松下電器では企画部に所属して、広告のディレクションをしていました。その中で、さまざまなデザイナーと親睦がありました。ある時、会食の後にたまたまデザイン会社の近くを通ったので顔を出したら、深夜12時近いというのに彼らは一生懸命広告制作していました。その姿を見て、自分はもともと何かを生み出す仕事をしたかったのだと、思い出しました。

越智：それからはどのように？

弘兼：方向性を見極めるためにある程度の準備は必要だと思い、しばらく会社で働きました。いきなり会社を辞めて、周りに迷惑を掛けるわけにいかないですから、ひとまず当時の額で100万円貯金しました。漫画家になれるまでは、この貯金で頑張ろうと思っていました。しかし、幸いなことにデザイン会社の方たちと人間関係をうまく築いていたので、松下電器退社後もたくさん仕事をいただき、サラリーマン時代より収入が3倍ほどになりました。そして、広告デザインの仕事をしながら、漫画を応募し入選。徐々に漫画の仕事を増やし、今に至っています。だから一度も、お金に困った時期がないのですよね。

越智：目標を見つけて、やみくもに行動するのではなく、現実的なステップアップを見据えることは大切ですよね。『課長 島耕作』の話の中では、松下電器時代のご経験が生かされているように見えますが。

弘兼：そうですね。当時、松下電器は6万人の社員を抱える巨大企業でした。その中で派閥抗争があり、本部長と部長が共倒れするような現実を目の当たりにしてきたわけです。そうした情報はサラリーマン時代の3年間で吸収しました。僕が漫画にする出来事はすべて実際に起こり得ることなのです。

越智：だからリアリティがあるのですね。

新たな世界と巡り合う

越智：私はワインが好きなので、島耕作がワインに目覚めたエピソードが気に入っています。

弘兼：島耕作が輸出部門に就いた時の話は、三洋電機のワイン輸入部門をモデルに描きました。当時は三洋電機がロマネコンティなどを輸入していました。

© 弘兼憲史／講談社

越智：ワインについてお詳しいですね。

弘兼：ストーリーを考える時は、取材した情報を基にしていますから。『島耕作』シリーズは娯楽の側面と情報発信の側面を持っている作品です。そのため、経済や政治、海外での日本企業の動向などにもいつも注目しています。ワイン以外にも、現在は農業や漁業について書いていますが、膨大な情報からどのように物語に落とし込むか考えるのが、結構大変です。

越智：新しいテーマはどのように考えておられるのですか？

弘兼：漫画を描きながら、ラジオやテレビのニュースを流して、気になる情報が耳に入れば、書き留めておき、担当編集者に調べてもらい、その資料を見て次のテーマを考えます。テーマが決まったら現地に行って、取材し、写真を撮ります。漫画にするために、取材時はいつも写真を撮らなければいけない。マグロの養殖だったらマグロの生け簀も撮らなければいけないわけです。大変ですが勉強になりますし、いろんな新しいことに巡り合えるので楽しみながら取材しています。

越智：世界が広がって良いですね。主人公の島耕作さんに託された思いはありますか？

弘兼：僕たちはクリエイターなので、高邁な思想を持って漫画を描くことはあまりありません。メッセージを伝えようという気持ちはなく、とにかく面白い漫画をつくりたいと思っています。ただ、作中の台詞は「自分がその現場にいたら」という観点から考えています。そのため、島耕作は自分と同い年にしているんです。課長時代を描く時は、まだ松下電器に残っている同期に電話をかけて、話を聞きました。情報源は同期の人たちが多いですかね。

大学は人生のターニングポイント

越智：弘兼さんにとっての人生のターニングポイントを教えてください。

弘兼：やはり松下電器を辞めて転職した時でしょうか。どんな人にも3回ほど訪れると思います。一つは大学を選ぶ時。理系か文系か進む学部によってかなり違います。二つ目は会社に入る時。三つ目が入社後に転職する時。僕の場合はその三つ目でうまくいったと思っています。

「自分がどう生きるか、イメージしながら過ごしてほしい」と学生たちにエール

越智：もし別の人生を歩んでいたらどんな仕事をされますか？

弘兼：料理人になりたいですね。最近、料理の本も書きましたが、作るのも食べるのも好きなので。

越智：最後に広島大学の学生に対して、大学で学んでおくべきことは何か、メッセージをお願いします。

弘兼：人間関係を築くことを大切にしてください。人間は大なり小なり組織の中で生きていく生き物ですから、コミュニケーションがかならず必要になります。大学には国内外を問わずさまざまな背景をもつ人が集まっています。そうした人たちとどれだけコミュニケーションできるかが大切ですね。会社に入ると年齢が離れた同僚がいますし、隣にいる人が大嫌いな性格かもしれないですよね。それでも仕事を進める上での人間関係を築かなければいけない。その力を身に付けることは勉学と同じくらい大切だと思います。

越智：そうですね。広島大学は日本人学生だけでなく世界各国からの留学生や学び直しの社会人学生も多く在籍します。学生たちにはぜひこの環境を生かして、さまざまなタイプの人とコミュニケーションをとってもらいたいと思います。

本日は貴重なお話をありがとうございました。

『島耕作』シリーズの名言から学ぶ

人生のヒント

多くのビジネスパーソンに読み親しまれてきた『島耕作』シリーズ。
さまざまな苦難を乗り越えて出世街道を歩んだ島耕作の物語から人生のヒントとなる名言をいくつかご紹介します。

挑戦の大切さ

無責任なようだけど
やるだけやってみようじゃないか
手をこまぬいているよりまず実行だ

『課長 島耕作』13巻

うまく付き合うこと

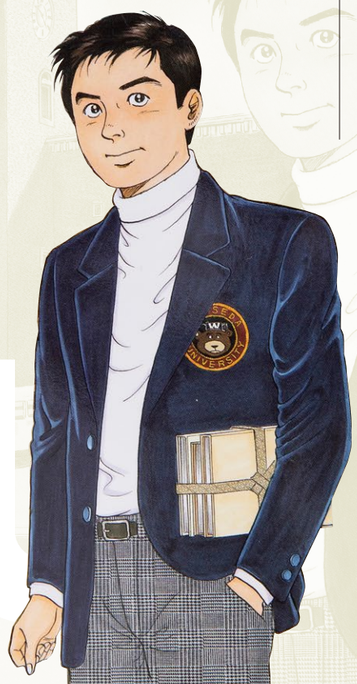
いろんな苦情を聞いても
決して否定的には
とらえないようにしようと思う

『取締役 島耕作』2巻

「自分」を持つこと

人生は自分で動かすものだ
これから死ぬまで
誰かに指図される人生で君は幸せか？

『課長 島耕作』9巻

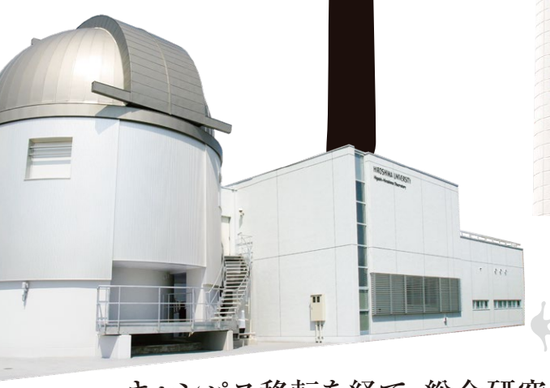


取材協力：75年史編纂室
石田 雅春 准教授

特集

広島大学の足跡をたどる

平成から令和へ



キャンパス移転を経て、総合研究大学へと進化を遂げた広島大学

―グローバル化やインターネットの普及が進み、人々の生活が目まぐるしく変化していった平成から令和の時代へ。広島大学も社会の変化に合わせて常に進化を遂げてきました。今号では、現在75年史を編纂中の石田雅春准教授が広島大学の歩みを振り返ります。

昭和47年（1972年）から平成7年（1995年）にかけて、広島大学ではキャンパスの統合移転という大プロジェクトが行われました。平成7年（1995年）に移転が完了し、それまで県内5市4町の19地区に分散していたキャンパスは、東広島と広島の2拠点に。東広島周辺は急速に発展し、キャンパスも活気づいていきました。広島大学にとって平成は新キャンパスと共に発展し、現在につながる基盤を築いていった時代だったと言うことができます。「キャンパスの有り様は変わっても、まじめで知力が高い学生の気質は開学当初から変わらないと感じます。留学生や県外出身者が増え、学生が多様化しても堅実な学生が多いのは、教員を志す人が多く集まってくるからなのかもしれません」と石田准教授。

広島大学を語る上で「平和」というキーワードは欠かせません。しかし、被爆者の高齢化やキャンパス移転によって学生らが旧理学部1号館など原爆の傷あとに触れ、「平和」について考える機会が減少しました。そこで、平成23年（2011年）に平和科目を開講し、必修科目に指定しました。「原爆の記憶を継承するためにも、時宜にかなった措置だったと思います」と石田准教授。「建学の精神や理念5原則も平和を重視しており、本学の研究・教育とは切っても切り離せない。被爆地ヒロシマの大学として、今後も平和を発信し続けていかなくては」と語ります。

平成は大きな改革が断行されました。中でも、特筆されるのは、平成16年（2004年）の国立大学法人化とそれに先立つ大学院の重点化です。世界大学ランキングの普及もあり、全国の大学は競争時代に突入。広島大学は総合研究大学へと軸足を移し、組織改編や長期ビジョンの策定など次々と改革を進めました。平成26年（2014年）には文部科学省のスーパーグローバル大学創成支援事業「タイプA」に採択され、日本だけでなく世界の研究・教育に貢献していくことを期待されています。「周年史を編纂して見えてきたのは、研究力の高い広島大学の姿。全国の大学教員に占める広大出身者の割合は、継続的に高い数字を示しています。基礎力がある大学なので、さらに研究力は伸びていく」と石田准教授は期待します。平成31年（2019年）4月には大学院研究科の再編をスタートし、分野の垣根を超えた研究環境を整備していく予定です。昭和から平成、そして令和へ。時代の要請に応えながら、広島大学は100年後にも世界で光り輝く大学を目指し、これからも躍進していきます。

特集 平成から令和へ

広大の平成史

大学史に刻まれる大きな出来事を幾度も経験した平成の30年間

平成元年

H1（1989）
工学部（S57）、生物生産学部（S63）に続き、教育学部・教育学部福山分校が東広島市に移転を完了

H3（1991）
中央図書館完成

カープ6度目のリーグ優勝

H4（1992）
ブールバール開通

JR西条駅と本学を結ぶ並木道の大部分が完成。

H5（1993）
オリエンテーションキャンプが学部開催に

H6（1994）
大学院国際協力研究科設置

H7（1995）
・東広島キャンパス移転完了

・大学理念5原則制定

昭和47年に決定し、始まった統合移転が23年もの歳月をかけて完了。11月には記念式典が開催された。

広島大学理念5原則

移転工事前（下）と移転完了後（左）の東広島キャンパスの航空写真。

阪神・淡路大震災

・阪神・淡路大震災に救援隊と豊潮丸を派遣

H8（1996）
放射光科学研究センター設置

H10（1998）
大学院先端物質科学研究科設置

広島大学創立50周年

H15（2003）
・附属病院入院棟開院

・医学部附属病院と歯学部附属病院を統合

・サタケメモリアルホール完成

広島大学創立50周年記念事業の一環として建設された。

H16（2004）
・国立大学法人広島大学設立

・大学院法務研究科設置

H17（2005）
広島大学の相撲部を題材にした映画『ちゃんこ』が公開

H18（2006）
・宇宙科学センター附属東広島天文台完成

1.5m光学赤外線望遠鏡を設置した天文台が、西条町下三永の標高503mの山頂に完成。

・広島大学総合博物館開館

・薬学部設置

・大学院総合科学研究科設置

H19（2007）
・世界初透明カエル誕生

両生類研究施設の研究チームにより、内臓が透けて見える透明カエル「スケルピョン」が誕生。解剖せずに生きたままで内臓や血管などを観察できるように。

・校友会設立

平和記念公園が国の名勝に指定

広島大学創立60周年

H23（2011）
・緊急被ばく医療支援チーム派遣

・平和科目開講

東日本大震災・福島原発事故

H25（2013）
・広島大学病院診療棟開院

・研究大学強化促進事業採択

H26（2014）
スーパーグローバル大学創成支援事業「タイプA（トップ型）」採択

H28（2016）
・第1回 知のフォーラム「広島大学から世界へ ～世界のトップ研究者に聞く～」を開催

・広島大学東千田未来創生センター設置

カープ25年ぶりのリーグ優勝 オバマ大統領広島訪問

H30（2018）
・防災・減災研究センター設置

・第1回ピース・レクチャー・マラソン開催

・「ゲノム編集先端人材育成プログラム」が平成30年度卓越大学院プログラムに採択

・情報科学部、総合科学部国際共創学科設置

・硬式野球部35年ぶりに全日本大学野球選手権大会出場

西日本豪雨災害

平成31年

H31（2019）
大学院再編により、統合生命科学研究科と医系科学研究科を設置

平成の広島ニュース

H28 オバマ大統領広島訪問

オバマ氏が現職のアメリカ大統領として初めて広島を訪問。原爆死没者慰霊碑で献花後、演説で核兵器廃絶を訴えた。

H28-H30 広島東洋カープがリーグ3連覇

平成28年に広島東洋カープが25年ぶりにリーグ優勝を達成。続く平成29年、30年にも優勝を果たし、リーグ3連覇となった。

強さの理由は何だろう?

広島東洋カープは、だから強い!

学問の探求
教授が答える、社会の“?”

身近な疑問を、異なる専門分野の研究者視点で解説!
今回はセ・リーグ3連覇を果たした広島東洋カープの
強さのヒミツに迫ります。

けがを防ぎ、選手のパフォーマンスを高める

「医科学」から

大学院医系科学研究科
広島大学病院 スポーツ医科学センター長
安達 伸生 教授
専門分野:整形外科学

広島東洋カープ、サンフレッチェ広島のチームドクターを務める。(一般社団法人日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会理事長)。

カープの選手に寄り添い、広島大学病院全体でサポート

広島東洋カープの強さの理由の一つは医科学のサポートと言えるのではないでしょうか。マツダスタジアムでの試合は、始まる前から必ず我々チームドクターは球場に入ります。試合前は選手の調子のチェック。試合中は球場で待機し、デッドボールなどでのけがの対処。必要に応じて、広島大学病院へ搬送することもあります。試合後は体調の変化を訴える選手の診察をします。マツダスタジアムのトレーナールームには超音波診断装置が設置されているので、その場で初期診断ができます。

小さな不安にきっちり対処していくことで、早期治療が可能になります。例えば、膝に少し痛みがあり、活躍しきれていなかった投手は、診察の結果、初期の軟骨損傷と分かりました。すぐに手術をし、翌年には一軍に。引退を考えていた選手が試合でアウトを取った時には本当に感動しました。手術から1年以内でビールかけにも参加できたのですから。チームドクターだからこそ、早い段階で治療に介入でき、選手の運命を変えられたと自負しています。広島大学病院で手術し、スポーツ医科学センターの理学療法士がリハビリを担当するなど、連携して治療できる環境で、より一層の早期回復ができたと思います。

2019年1月の新入団選手のフィジカルチェック。

一般医療にも役立つプロアスリートの治療

カープの選手を含め、プロアスリートからは、短期間で高いパフォーマンスまでの回復を要求されます。それが可能な理由は三つあります。まず、基礎体力や筋力、柔軟性、体力がある。次にトレーナーがついているので、リハビリを安全に行える(実際、我々はカープのトレーナーとはしっかりとコミュニケーションをとりながら、リハビリを実施しています)。そして、何よりも本人のモチベーションが高い。これらの条件が揃っているので思い切った治療ができるのです。カープの選手の治療に深く関与し、その過程のエビデンスを蓄積することは、野球選手だけでなく、一般の患者さんの治療にも役立っています。

安達教授ももちろんカープファンです。

正しい知識と高い意識で故障しない体をつくる

2014年から毎年、カープの新入団選手のフィジカルチェックを実施しています。医師や理学療法士の指導でジャンプ力や脚の筋力、全身持久力などを測定し、各選手に合ったアドバイスをしています。まずは、体の状態を知るフィジカルチェックの必要性を理解してもらうことから始めます。また、けがをしやすい姿勢や動作を防ぐトレーニングプログラムを導入するなど、けがをしにくい体づくりのための指導も行っています。

カープのトレーナーの話では、昔は試合の後マッサージを受けている選手が多かったのが、今は試合後にもエクササイズを行い、ねじれを正すなど、体のリセットをする選手が増えてきているそうです。体を良好な状態に戻して次の試合に挑むのは、プロである限り当然のこと。そのような意識と姿勢がけがを防ぎ、チーム全体のパフォーマンスを高めていると思います。それもカープが強くなってきている理由の一つかもしれないですね。

治療するだけでなく予防つまり、けがをしない体をつくるなど、医科学がスポーツに果たす役割はこれからますます広がっていくと思っています。

成功体験をチームの力にするコーチング術

「教育学」から

大学院教育学研究科
出口 達也 教授
専門分野:柔道、コーチング、運動学

大学院教育学研究科で野村謙二郎氏を指導。過去に柔道の谷亮子選手のコーチを務める。

「日本一になる」を共通の目的意識に

広島東洋カープが強い理由の一つはコーチングの成功にあるのではないかと私は考えています。コーチングとは、相手との対話を通して自発的な行動を促し、目標を達成させる技術。例えばスポーツでは、チームを強化し、試合に勝利することが最終的な目標です。強いチームをつくる一番の秘訣は、「強くなりたい」という共通の目的意識を全員が持つこと。そのために、コーチングでは選手それぞれの状況や性格をきちんと把握して、やる気が出るよう上手に動機付けをします。選手にどんな言葉を掛けるのか。いつどんな練習を課すのか。絶対的な正解はなく、一人一人に合わせた指導が大切です。

現在のカープには「日本一になる」という共通の目的意識がはっきりとあり、それに向けて選手一人一人が努力し、互いに刺激し合っていると感じます。何度かカープ関係者にお話を伺って、その練習の量や質の高さに驚きました。若手選手は全体練習の2時間前に自主的にトレーニングを始め、単なる筋トレではなく野球に合った体づくりに取り組んでいると言います。今はどんなスポーツにおいても、才能だけで勝ち上がれる時代ではありません。目的意識をしっかりと持ち、限られた時間の中でいかに質の高い練習ができるかがトップアスリートへのカギを握ります。自ら「強くなりたい」、「勝ちたい」という思いを持っていれば、自然と練習での吸収力も高くなります。

大学院教育学研究科では野村さん(広島東洋カープ前監督)の指導を担当。

ファンの熱い声援に応える思いがやる気に

数年前までBクラスに低迷していたカープがこんなにも強くなれたのは、小さな成功体験をそのままで終わらせるのではなく、コーチングによってきちんと振り返ってチームの力にしていったからでもあります。たとえ偶然つかんだ勝利だとしても、しっかり分析して次へ生かせば少しずつ強くなることができます。同じ成功体験を後輩にも味わってもらいたいという先輩の思いも、良い循環につながったのではないでしょうか。

また、地元の熱心な応援も、外的な動機付けとしてカープの強さを支えています。ファンの期待に応えたいという思いが練習や試合へのやる気につながっているのです。

学校、家庭、職場でも応用できる

スキル向上を目指す人に対して、助言や課題を与えてモチベーションをコントロールするコーチングには、教育に通じる側面があります。野球の練習であっても、算数の授業であっても、相手のことを考えてより良い方向に導くという根本的な部分は変わりません。コーチングというとスポーツばかりを連想しがちですが、実は学校はもちろん、家庭や職場などいろいろな場面での応用が可能なのです。

ゼミの様子。教員の道も考えたことのある野村さんからのアドバイスは、学生も教員も勉強になりました。

AERAが書く、研究者の素顔

研究者は普段どのような一日を送り、研究に取り組んでいるのか。その学問への出合いのきっかけや、探究の原動力は何だったのか。人物、スポーツ、文化、政治、経済、事件…幅広いジャンルを取材するAERA記者が研究者の素顔に迫ります。

［AERA］
「時代」をキーワードに独自の切り口で描くニュース週刊誌。国内外の重大ニュースから身の回りの小さな出来事まで「時代」を敏感にキャッチし、独自の視点で掘り下げた記事をお届けしています。

知的好奇心旺盛で、自分で物事を考えられる学生を育てたい

水沼准教授に訊く!!!

Q1 研究者を志したきっかけは？
Q2 尊敬する人は？
Q3 研究の醍醐味は？

統合生命科学

水沼正樹准教授

酵母を用いてアンチエイジングを研究

「趣味はなんですか？」

そう問いかけると、水沼正樹准教授は「たくさんあります」と、笑顔を見せた。「家庭菜園もその一つです。今は青いバラの栽培に挑戦していますが、なかなかうまくいきません。青くなる原因因子があって、それが酸性化すると色がつく。そこまで分かっていながら一度も青く育てられない。『なぜだろう？』って悩みながら楽しんでいます」

生まれは愛媛県松山市。生き物や植物が大好きな「好奇心旺盛な少年」だった。暇があれば昆虫やメダカを捕まえて飼育したり、植物を観察したり。その趣味は現在も続き、自宅では犬、メダカ、エビなどを飼育する。

水沼准教授の研究テーマは、小さな生物である酵母や線虫を用いたアンチエイジングだ。

「寿命を決める因子は酵母や線虫で最初に発見され、その基本的な仕組みは高等生物にまで保存されています。酵母や線虫に存在する長寿遺伝子と同じものがヒトにも存在すれば、寿命のメカニズム解明だけでなく、老化に伴う疾患の予防や治療にもつながるかもしれません」

24歳の時、論文が英科学誌に掲載

広島大学工学部に入学後、酵母研究者の宮川都吉教授の研究室に所属した。

「３年の時に卒業論文発表会を見学しました。なかでも宮川研究室の発表は素晴らしかった。『他と何が違うんだろう？』と気になって観察すると、彼らはペーパーを読まずに研究成果をそらんじていたんです。『ここで学べば鍛えられるかもしれない』と考えました」

研究者を志すようになったのは修士２年の時。24歳の若さで英科学誌ネイチャーに論文が掲載されたのだ。

「研究者として使い物になるかもしれないという自信が芽生えました。ただ、実際は宮川教授に言われるままに研究をしていただけ。運が良かったんです」

そう謙遜するが、その後も水沼准教授の研究は高い評価を受ける。2018年度、若手科学者を対象とした日本学術振興会賞を受賞した。テーマは「遺伝的アプローチによる細胞周期制御機構の発見と寿命制御研究への展開」だ。

「パン酵母に含まれるカルシウムイオンが細胞周期や細胞の寿命にどのように関わっているのかについて明らかにしました。また線虫を対象にして、温度や餌などの環境因子が寿命延長に関わることを示しました。これらの成果は、今後、創薬や機能性食品の開発などへ発展することが期待されます」

14年から広島大学大学院に自分の研究室を持つ。研究者として活躍する一方、教育者としての立場も加わった。学生について聞くと、「みんな真面目で優秀です」とことわりながら、「競争しないんですよ……」と苦笑いする。

「例えば誰かが著しい成果を挙げると周りの学生たちは心から祝福する。他人の成功を喜ぶ気持ちは尊いのですが、悔しさも感じてほしい」

研究の過程で壁にぶつかったことはない

酵母研究で大切なのは「モチベーションの維持」だという。過去には、２年間かけて101個の酵母を調べたこともあった。若い学生たちのやる気を保つためには工夫が必要だ。

「例えば、休みの前に『体に良いモノを100個探しなさい』という課題を出します。誰でもマラソンは健康に良いと知っていますが、理由をきちんと説明できる人は少ない。学生には知的好奇心を満たす楽しさを知ってほしい」

「趣味が仕事になった」と笑顔で話す水沼准教授。壁にぶつかったことはないのだろうか。

「ネガティブな結果が出ても、その原因を理解すれば、ポジティブな結果を導くための大切なピースになる。だから私は研究の過程で壁を感じたことはありません。知的好奇心旺盛で自分で物事を考えられる学生を育てるとともに、自分自身もそうあり続けたいと願っています」

取材・文／アエラムック編集部　竹内 良介

PROFILE
みずぬま・まさき／1974年、愛媛県生まれ。広島大学大学院統合生命科学研究科准教授。96年、広島大学工学部卒業、同大学院工学研究科博士課程後期修了。同大学院先端物質科学研究科助手、ハーバード大学ジョスリン糖尿病センター客員研究員などを経て2011年より現職。

学生時代の恩師、宮川都吉教授（右）と

趣味の家庭菜園では青いバラ以外にもさまざまな植物を育てている

ネイチャーに掲載された論文
テーマは細胞周期とカルシウムイオンの関係性について

What do you like?

生きものが大好きな水沼准教授。愛犬はディズニー映画「わんわん物語」に登場するアメリカンコッカースパニエル。自宅に居るときには犬と遊ぶことが多いんだとか。

愛犬 なっちゃん（オス）

チーム広大
潜入 REPORT

team 01

国籍の壁を超える
アットホームな学び場

教育開発国際協力研究センター（CICE）

石田 洋子 研究室

国際ネットワークを生かして地球規模の課題に立ち向かう
基礎教育拠点の広島大学で、目指すは「途上国の学びの改善」

セネガル、マダガスカル、インドネシア、中国、日本…。国際協力研究科（IDEC）の学生が集まる石田研究室は実に国際色豊かだ。研究テーマは「途上国の学びの改善」。教員や行政官など現場経験者も多く、理論を実践につなげる研究に専念する。教員の動機付けのあり方や教育への地域の関心を高めることなど目標は多様。それぞれが直面してきた課題を改善するため、母国や日本の教育をテーマに学んでいる。研究室は、遠慮せずに互いに指摘し、意見を出し合える刺激のある環境だ。集めたデータや経験を共有し各国の特徴を比較することで、さらに研究の価値を高めている。

指導する石田教授は、日本の政府開発援助（ODA）を中心に開発コンサルタントとして25年間活動。専門はプロジェクト評価で、ザンビアやネパールなどの国において国際協力の成果を分析してきた。石田教授が所属する教育開発国際協力研究センター（CICE）はアフリカやアジアの30大学と大学間ネットワーク※を運営するほか、持続可能な開発目標（SDGs）などに関する国際セミナーを開催。研究室の学生にも積極的な参加を促し、大学間の交流を進めている。

自国の料理を持ち寄ったパーティーや、サッカーや野球などのスポーツ観戦を通した親睦も盛んだ。

広島大学は教員教育に軸足を置く大学であり、国際化の推進により異文化理解を深める機会が多いため研究の視野も広がっているようだ。

研究室の目標は、途上国の子どもたちのために学びの質を改善し、SDG4「質の高い教育をみんなに」の達成に貢献すること。石田教授は「さまざまな国の教育の長所・短所を共有・分析し、自国の教育改善のあり方を考え、実践する知見やスキルを身に付け、教育行政や教育現場の改善にリーダーシップを担う人材になってほしい」と語る。

※アフリカ・アジア大学間交流ダイアログ

DATA
学問分野：社会科学 / 教育学 / 教育社会学
キーワード：国際教育協力、事業評価、プログラム評価
人数：大学院生9人
その他連携施設：ザンビアなど、AAD※のメンバー大学

team 02

国内外から熱視線！
エネルギー分野の最先端

工学研究科／自然科学研究支援開発センター

市川 貴之 研究室

水素研究が強み。新しいエネルギー社会の中で
気の置けないメンバーと共に世界から信頼されるチームへ

サステナブル社会にシフトする上で、水素エネルギーの活用は欠かせない。そのカギを握るエネルギー貯蔵材料の研究において、市川研究室は国内外から熱い視線を集めている。

特に力を入れているのは、水素を貯める特殊な金属「水素吸蔵合金」を使った「水素昇圧システム」の研究だ。水素吸蔵合金は、水素を低圧で貯蔵する性質を持つ。これに熱を加えることで高圧の水素を発生させる技術を、世界で初めて同研究室が開発した。金属の特性を利用して、効率的に多くの水素を発生・貯蔵できる画期的なシステムだ。従来の機械式システムは騒音が発生する上、メンテナンスに高いコストがかかっており、水素ステーションの普及の障壁となっていた。新システムであれば、機械ではなく熱を利用するため静かで低コスト。さらに工場や焼却炉の排熱を再利用することも可能だ。実用化されれば、環境問題の解決、水素エネルギー社会の実現への大きな一歩となるだろう。

博士課程の学生も多いことから研究のレベルが高く、各自が異なるテーマで研究を行うことによって得られる広い視野と知見は、研究室の強みになっている。水素研究はこれから新たな市場を開拓できる分野だからこそ、「ノーベル賞受賞」を意識して取り組むほどに、メンバーの士気は高い。さらに「言いたいことが言い合える」雰囲気も大きな魅力の一つ。市川教授は学生のアイデアをできるだけ生かし、自由な考えで研究を楽しめる環境づくりを心掛けている。そのため和やかな雰囲気の中で協力関係が育まれ、良い研究成果が生まれている。

研究内容は週に1度の報告会に加え、年に2回程度開催される大報告会で共有する。留学生のメンバーも参加し、1人30分、英語で発表。普段から半分は英語で会話をしているため、海外での発表会でも言葉を気にせず、内容を磨くことができている。また学内に設立されたベンチャー企業「ハイドロラボ」に市川研究室でしかできない実験の依頼が多く集まることも、研究室全体のスキルアップにつながっている。今後は世界の研究者が「このチームに加わって一緒に研究したい」と思われるようなブランド力のあるチームを目指す。

DATA
学問分野：エネルギー/マテリアルサイエンス（材料工学）
キーワード：水素貯蔵物質/二次電池/アンモニア
人数：学部生5人、大学院生15人、その他（教員・研究員など）4人
その他連携施設：総合科学研究科、先端物質科学研究科

【ぶち】とても(広島弁)おもしろい広大講義

広大学生広報ディレクターがおすすめする広島大学の「ぶち」おもしろい講義を各回ご紹介します。

vol.01

睡眠の科学

担当教員：林 光緒 教授
（総合科学研究科
行動科学講座）

学問分野：社会科学/心理学
教科区分：教養教育

Student's Voice!

私が受けた教養教育の講義の中で、実生活に直接役立ったと感じた講義です。大学生になり一人暮らしを始め、軽視しがちだった睡眠に対する意識を変えることができました。

学生広報ディレクター
総合科学部 3年 **山本 昌奈実**さん

「6時間寝ればじゅうぶん」は実は誤った睡眠知識?!
受講者約200人の人気講義で正しい睡眠を学ぶ

スマホやネットの見過ぎによる夜更かし、そして授業中の眠気…。大学生は睡眠が乱れやすい年齢層であると言われています。「睡眠は身近であるがゆえに、誤った知識が広まりやすい。学生たちは『6時間寝ればじゅうぶん』と認識しているようですが、これには何の根拠もありません」と語る林光緒教授。林教授の人気講義「睡眠の科学」では学生が睡眠に関する正しい知識を身に付けること、さらには学生の生活習慣の改善を目標としています。

講義では睡眠のメカニズムや仮眠の効果、睡眠と夢など、眠りに関連する内容を幅広く学習します。時にはどうしても受講中に居眠りをしてしまう学生を観察対象として学びに活用することも。その中でも人気は睡眠に関する『10クエスチョン』。「冷え性の人は寝る前にぬるま湯に軽くつかるとよい?」「睡眠中にトイレに行きたくならないように、寝る前は飲水を控えた方がよい?」などの○×問題を通して正しい知識を身に付けます。その他、金縛りのメカニズムや居眠り運転を防ぐ自動運転技術などの睡眠に関する雑学も学生からの反響は大きいです。講義の際、答えを表示して書き写すだけの「作業」になってしまうことがないよう、スライドに正解は表示しません。学生たち自身が緊張感を持ち、深く考えることで知識を身に付けられる講義です。

そしてこの講義の一番のポイントが体験学習である「睡眠日誌」。4週間にわたって毎日、①起床・就寝時刻、②熟睡感や日中の眠気の度合いを記録することで自分の睡眠スタイルを見直します。最初の2週間で自分の現状を把握し、次の2週間でその改善を行います。学生の場合、最大の問題は睡眠リズムの乱れ。朝、決まった時刻に起床し光を浴びることが重要です。そしてもう一つの問題が夜の睡眠を妨げる「昼寝」。これらに注意することで日中の覚醒レベルが高くなり、1日の充実感は格段にアップします。最初は半信半疑の学生からも、講義を終えるとその大きな変化に驚きの声が寄せられます。「睡眠日誌」を通して学ぶべきは睡眠リズムの直し方。体をいつでも健康な状態に戻す術を学び、生活を好転させましょう。

睡眠日誌

Before
バラバラの
睡眠リズムが

→

After
安定して昼間
も元気に！

西谷 元 教授
社会科学研究科　政策法務講座
グローバル化推進室長

個人の興味やキャリアに合った豊富な留学プログラムが魅力。

私自身が広島大学の学生時代に、奨学金制度を活用して、ニュージーランドのオークランド大学に留学し、ダブルディグリーを取得しました。その後もアムステルダム大学やハーバード大学などへ留学。授業やプレゼン準備に追われながらも、充実した毎日でした。学生たちにも質の高い留学体験をしてもらうために広島大学では留学効果の客観的測定テスト BEVI を他大学に先駆けて開発し、留学プログラムの継続的改善に役立てています。内面の変化、専門知識の取得という観点から留学に最適なのが大学時代。各個人の興味や、キャリアに合わせた留学プログラムを提供していますので、夢の実現に向けて制度を活用してもらいたいです。

アムステルダム大学留学時の思い出。留学前後に欧州・アラスカを8カ月にわたってバックパッキングしました。

おすすめの留学プログラム
HUSAなど数カ月以上の留学プログラム
2週間などの短期間留学とは異なる世界を見ることができるからです。

HUSAとは…
広島大学短期交換留学プログラム(Hiroshima University Study Abroad Program)の略。派遣先の大学で概ね1年以内(1学期または複数学期)、教育・研究指導を受ける制度。

金 智英さん
教育学部 第三類 国語文化系コース 在籍
出身国：中国　留学期間：9カ月

日本文学を学びに広島へ。充実した研究環境で学んでいます。

中国にいた時に興味を持った俵万智の『サラダ記念日』をテーマに研究を行い、卒業論文を書きました。指導教員の先生は親身に相談に乗ってくださり、図書館には資料が豊富にそろっているので、研究がはかどります。日本人学生の友人をつくるため、サークルにも入りました。広島に来て印象的だったのは西条の酒まつりと、広島市の胡子大祭に行ったこと。想像以上に充実した留学生活を送っていて、今後は広島大学の大学院に進学したいと考えています。

ゼミでの学修風景。4年になってからは卒業論文の書き方を丁寧に教わりながら、力を入れて取り組みました。

活用した留学プログラム
森戸国際高等教育学院 3+1プログラム
海外の大学で2・3年次までの課程を修了した学生を特別聴講学生として受け入れ、専門教育や卒業論文の指導を実施。

日本の好きなところ
留学してから気に入ったのは、日本の夕焼けの空と、スイーツ、USJ。広島大学の自然豊かで美しいキャンパス風景も中国の学生におすすめしたいポイントです。

学生レポ! 私も広大です。

広島大学を卒業・修了後、各業界で活躍されているOB・OGの方々に学生がインタビュー。
現在のお仕事と大学時代を語っていただきました。

迫田孝也さん
俳優

広島大学教育学部
教科教育学科1999年度卒業
大学卒業後、上京し、劇団STRAYDOGに約8年間在籍。三谷幸喜監督作品に多く出演。主な出演作品はNHK大河ドラマ「真田丸」「西郷どん」、鹿児島テレビ開局50周年記念ドラマ「前田正名–龍馬が託した男–」など。今後はTBS系4月期日曜劇場「集団左遷!!」、9月には舞台「愛と哀しみのシャーロック・ホームズ」への出演が控えている。
ホリプロ所属。

教職から一変、役者の道へ 何でもありの精神で夢を見つけた

教師だった父の影響で漠然と教師を目指し、広島大学の教育学部に入学しました。体育教育学専修だったので授業は体育漬け。さらに体育会バレーボール部で部活動に打ち込み、演劇とは無縁の大学生活を送っていました。大学3年の時、役者を目指して大きく方向転換するまでは。

きっかけは地元鹿児島での山田洋次監督のスタッフさんたちとの偶然の出会いです。お話しする中で、「演劇の世界で表舞台に立ってみたい」と直感しました。その後の学生生活は役者になるために、「役者とは何か」「映画はどうやって作られているのか」などを知る1年間でした。それまで演劇にはまったく接点がなかったので、友人に学内の劇団やサークルを紹介してもらって舞台を経験させてもらったり同級生とユニットを組んで芝居をしたり。学生時代に舞台に立った回数は少なかったけれど、音響、照明、脚本家も含めていろいろな方に支えられて作品は作られているんだと感じることができました。広島から東京まで青春18切符を使って自分で事務所を探すなどもしました。

枠にとらわれない、自由な生き方を

役者の最大の楽しみは、いろんな役を演じて非日常を感じられるところ。人は日常生活で理性を保って生きていますが、役者はその境目を越えることができるんですよ。いろんな「普通」を知っていることは役者として役に立ちますから、これまでに無駄な経験は一つもなかったと感じています。バレーボールをやっていたことが舞台での体の使い方に生きましたし、教育実習での経験も、自分の見せ方を考えるヒントになりました。教師の役をした時には「ぴったり!」って言われたりもして。配達のアルバイトなどの経験からも手さばきとか、体さばきとか自然な型ができるのは役に立ちますね。

役者になって感じるのは、役者同士のコミュニケーションの大切さ。作品の中で対等にぶつかり合えないとシーンが成立しないので、礼儀を大切にし、会話の中で信頼関係を築けるよう意識しています。東京に出てから広島大学出身者の多さを実感。二、三歩近いところから人間関係を始められるのはいいことだなと思います。

大学の4年間では、自分の中でこうしなくちゃ、ああならなきゃという枠を決める必要はありません。常にアンテナを張って何でも吸収するつもりで学生生活を過ごしていれば、進むべき道が見えてくるのではないかと思います。枠にとらわれない自由な生き方を次世代の人たちに示せたら嬉しいです。

Report
学生広報ディレクター

教育学部卒の俳優さんってどんな方なんだろう?と最初は思っていましたが、本当に明るく気さくな方で、取材はどことなく授業を受けているような雰囲気で進んでいきました。人生をより面白く、より楽しくするヒントを“迫田先生”から教えてもらえたように思います。

教育学部3年　貴船 桃佳さん

広島大学文学部哲学科1979年度卒業
大学卒業後、広島テレビに入社し、人事・総務部門に勤務。2015年から技術局長、2018年に広島テレビで初の女性取締役となり、新社屋への移転で機材関係の責任者を務めた。現在は、取締役経営戦略局長代理。広島テレビには広大出身者が多い。

新延聡子さん
広島テレビ放送 取締役

異例の文系出身の技術局長 分からないことを強みに

学生時代、「伝える」ことに興味がありマスコミ業界を志望しました。当時は4大卒の女性が入社できる民間企業は少なく、広島の民放で男女同一賃金なのはたった2社。今では当たり前の男女平等にこだわり、広島テレビに入社しました。どの仕事も自分なりの成長を感じることができて幸運でした。

2015年、日本テレビ系列で初の女性技術局長に就任。技術局では、視聴者に番組を届ける放送システム全般の整備を担います。この時期は新社屋建設を控えており、新しい放送設備の検討と選定という大役を任されることになりました。歴代の技術局長は技術出身で、文系出身の私が選ばれたのは異例のことです。

会議やメーカーとの打ち合わせは専門用語ばかりで、まるで外国留学でもしたようにチンプンカンプンです。しかし、私が理解できなければ、経営層に説明して決裁を仰ぐこともできません。担当者には何度も何度も説明資料の書き直しを指示し、四苦八苦の末に決裁に至りました。文系出身の技術局長だからこそ、現場担当者と経営層の間を取り持つ通訳の役を果たせたのでしょう。新社屋移転のタイミングで技術局長を任されたのはそのような理由があったのかもしれません。

最大の危機は2018年7月の西日本豪雨災害でした。送信塔のある絵下山の道路が崩落し、電柱が倒れて停電するアクシデントが起こったのです。一瞬たりとも放送を絶やさないという使命感から、大型ヘリを手配して山頂へ予備電源用の軽油を運び、難局を乗り越えました。非常時に県民の命を守る放送を維持できるよう、知力・体力のある会社をつくりたいと痛感した出来事でした。

2018年9月23日早朝、新社屋からの放送切り替えの瞬間を迎えました。準備期間の苦労がよみがえり、感極まりました。みんなも自分もよく頑張ったと。

世界が注目するHIROSHIMA その特殊性や魅力を発信していきたい

このように常に新しい挑戦をしていますが、その素地は大学時代に培われたと思います。毎週金曜日は研究室に教授から大学院生、学部生まで幅広い年齢層が集まり、お弁当を食べながら話しました。知見をお持ちの先生方や先輩方と語り合うことで発想の幅が広がったと感謝しています。広島大学には著名な先生がたくさんおられ、歴史の中で知見と知財が蓄積されています。中国地方のトップ大学であり、世界につながる大学だと思います。

欧米での「HIROSHIMA」の知名度は想像以上に高く、広島テレビでも自社制作番組を海外へ販売したり、インターネットを通じて世界に番組を配信したりしています。広島から世界へという姿勢は広島大学と広島テレビの共通点ではないでしょうか。今後も地元を軸に、世界に発信する魅力ある企業でありたいと思います。

Report
学生広報ディレクター

技術局長時代の苦労など、さまざまなお話を伺い、華やかなイメージが強いテレビ業界の裏には、多くの人の支えがあるということが分かりました。広島テレビの「地方から世界へ」という姿勢を聞いて、私も世界に目を向け、多くの経験をしていこうと思いました。

教育学部3年　山下 奈那子さん

広大生の
「イマ」をお届け
キャンパスNOW

CLOSE UP！ 部活＆サークル

新入生必見！広島大学に240団体以上ある部活・サークルの中から3タイプ9団体をピックアップしてご紹介。

● 体育会所属 ● 東広島キャンパス内施設　掲載内容は、2019年3月現在のものです。

Type 1 みんなでいい汗流してます！ アクティブ系

目標は「中四国圧倒」。優勝のその先へ

アメリカンフットボール部●

今年は中四国リーグ優勝のその先を見据え、メリハリをつけて全力で練習しています。面白く、仲の良い雰囲気も部の魅力。初心者も多く、皆に試合に出るチャンスがあります。

- 活動日：シーズン中　火・水・木・土・日曜日
- 主な活動場所：北グラウンド●
- 人数：プレーヤー35人、マネージャー5人
- Twitter：@raccoons_hu_af

個性で医科学生の頂点を目指す

医学部サッカー部

サッカー上達のためには手を抜かず、2018年度には全日本医科学生体育大会で準優勝！個性的なメンバーが多く、サッカーを楽しみながら全国大会優勝を目指しています。

- 活動日：月・水・土曜日
- 主な活動場所：近隣の中学校、運動公園（広島市など）
- 人数：プレーヤー33人、マネージャー3人
- Twitter：@HIROmedsoccer

おいしい野菜づくりを楽しもう

農業サークル田口むし

大学周辺で野菜栽培を楽しむ他、田植えや稲刈り、柑橘類の収穫など農家の方のお手伝いを通して地域貢献にも取り組んでいます。野菜の種類ごとに異なる育て方に思考錯誤！

- 活動日：週2回（授業に応じて変動）
- 主な活動場所：二神山の裏の畑（東広島市）
- 人数：28人
- Twitter：@taguchimushi

Type 2 魅せる！映える！ パフォーマンス系

大舞台でパフォーマンスを披露

書道部

好きな字を好きなように書くというスタンスで活動。留学生の部員が多く、国際交流の場にもなっています。大学祭などでは書道パフォーマンスを披露！その達成感は宝物です。

- 活動日：水・土曜日　●主な活動場所：創作室●
- 人数：54人
- Twitter：@shodoude_gozaru

メンバーそれぞれの世界観を表現

まーまー堂

撮影：中野瑛登

オリジナルの衣装でファッションショーを行う服飾サークルです。ショーの演出から衣装まで自分の好みを表現できます。作り手とモデル、それぞれの個性が光る！

- 活動日：ゆかた祭り、大学祭前後のみ
- 主な活動場所：スペイン広場●　●人数：26人
- Instagram：mamado_fashion_

総勢100人でつくり上げる圧巻のステージ

リズミックダンスクラブ●

大学祭や公演など学内イベントでのステージ発表やダンスコンテストへの出場の他、小学校でのダンス指導を実施。大学からダンスを始めた部員が大半！

- 活動日：水・日曜日（イベント前以外）
- 主な活動場所：北体育館●、総合科学部棟●　●人数：91人
- YouTube：広島大学リズミック

Type 3 海へ、山へ、空へ…自然を満喫！ アウトドア系

練習や合宿で磨く、実力と絆

漕艇部●

平日は学内でマシントレーニング、土日や長期休業には広島市内の合宿所に泊まり込んで、練習に励んでいます。練習や合宿での共同生活を通して、他にはない絆が生まれるはず！

- 活動日：月～木曜日、土・日曜日、長期休業
- 主な活動場所：太田川、サークル棟●
- 人数：プレーヤー9人、マネージャー5人
- Twitter：@hrowing

キミの知らない体験ができる

探検部

食べ歩き、神社参拝などのゆる～い活動から洞窟探検や登山など本格的な活動まで面白そうだと思ったことは何でも実施！ フットワークの軽いメンバーが多いです。

- 活動日：火・金曜日（部会）
- 主な活動場所：総合科学部棟●、海、山、無人島など
- 人数：約40人
- Twitter：@hutkb48

星空の魅力に触れてみませんか

天文学研究会

高性能の望遠鏡による天体観測や、手作りのプラネタリウムでの星空解説、天文アクセサリーの製作など幅広く実施。小学校でも観望会を行い、天文の普及活動を行っています。

- 活動日：週1回（定例会）、星の見える日
- 主な活動場所：サークル棟●、大学会館●
- 人数：51人
- Twitter：@hirodai_tenmon

1

北村 拓也さん
工学研究科 情報工学専攻 博士課程後期2年

プログラミングは自己実現の最強の武器

中学生の頃は学校が嫌いで、「落ちこぼれ」でした。しかし大学でプログラミングに出合い、月に本を50冊以上読み独学で修得。自分より高い技術を持つ人が集うコミュニティで腕を磨き、2月には自作の学習アプリが学生ビジネスコンテスト「第15回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会」で大賞を受賞するなど、スキルを自分の武器にすることができました。また、広島大学起業部で第1期学生代表を務め、現在は小中高生向けプログラミングスクール「Tech Chance！」の取締役として運営を行う他、プログラミングの学習術を伝える本も出版しています。学生生活を充実させるポイントは人生目標を持つこと。現状では達成困難な目標を定め、新たな行動を起こすことが重要だと思います。

愛用アイテム：Mac Book

プログラミングをするならMac。
若手セキュリティイノベーター育成プログラム「SecHack365」など、所属していたコミュニティのロゴシールを貼っています。

がんばる学生の姿をお届け

HIRO-DAI HEROES

2

齋原 みず稀さん
教育学部 第四類 健康スポーツ系コース 4年

大好きなサッカーで日本代表を目指す

幼少期からいつもボールを持ち歩くほどのサッカー好きで、高校時代にはU-17日本代表として世界一に。現在は広島大学女子サッカー部に所属しながら、バニーズ京都の一員として、なでしこリーグでも活動しています。部活動では、チーム全員で頑張る大切さを実感。部員わずか8人ながら、全力でプレーをし、県大会1位を勝ち取りました。また、バニーズでの活動は刺激の連続。選手一人一人のサッカーへの思いが強く、個人向けの強化練習の機会が多いので、練習に対する意識が変わりました。自分の課題を明確にし、試合に向けて改善していくことで練習の質が高まったと感じます。FWというポジションだけに、得点に対するこだわりは人一倍。日本代表という大きな夢に向け、1試合1得点を目標に日々練習に取り組んでいます。

愛用アイテム：練習後用のシューズ

中学生の頃から履いているお気に入りのシューズ。
試合や練習が終わった後はいつも、
スパイクからこの靴に履き替えています。

HU-style vol.9

教えて 先輩！

大学生活スタートダッシュ

～新入生への13のアドバイス～

学業、部活、サークル、アルバイト…大学生活を充実させるポイントはさまざま。
新入生の皆さんに3月に卒業・修了した先輩からアドバイス！より素敵な広大ライフのヒントになるはず！

撮影 片岡 真理子さん 佐々木 香奈栄さん 廣瀬 佑太さん

企画・取材：学生広報ディレクター

先輩のこれから 病院勤務
医学部卒業 白石 貫馬さん

コミュニティを広げて素敵な出会いを！

1年の時から3年間オリキャン※のフェローを務め、活動の中で積極的に取り組んできました。オリキャンや部活など学内に留まらず、学外でもバイト、行きつけの居酒屋などのコミュニティを広げることで刺激的な毎日になりますよ！

※学部ごとに行われる新入生歓迎イベント「オリエンテーションキャンプ」の略。

取材 佐々木 香奈栄さん

先輩のこれから 美術教師
教育学部卒業 北川 可奈子さん

計画性とメリハリで文武両道を実現！

ヨット部員として4年間活動。大学生活で本気になって打ち込める事に出会えて本当に良かったです。やりたいことをやり切って、先生になる夢も叶えました！勉強と部活を両立させるには、先を見通す事とメリハリをつける事が大切！

取材 堀家 実悠希さん

先輩のこれから IT企業勤務
経済学部卒業 高山 亮真さん

手帳を付けて時間を有効活用！

1、2年の時はボランティアや大学祭実行委員に専念。以降は、趣味を中心にサークルにバイトにと多忙を極めました。有限な時間を有意義に使うには手帳を付けること！朝に予定を、日中は思い付きを、夜は振り返りをメモしよう！

取材 久保 真理奈さん

先輩のこれから 国家公務員
社会科学研究科 博士課程前期修了 穴吹 暁さん

事前準備万端で主体的に取り組もう

興味のある授業をタームごとに最低一つ選び、有益な質問ができるように取り組もう！良い質問をするにはかなりの準備が必要ですが、主体的に物事に取り組む習慣は就職活動や卒業論文執筆の際に必ず生きてきますよ！

取材 松尾 拓海さん

先輩のこれから 国家公務員
法学部卒業 副島 由貴さん

受け身にならずやりたい!を大切に

2年で広島大学の交換留学プログラムでカナダに留学後、中国で1000人規模の日中大学生交流会に参加したり、学内でマレーシアの学生とフォーラムを開催したりしました。自分のやりたい課外活動を充実させて、独自の学生生活をつくろう！

取材 片岡 真理子さん

先輩のこれから 広島大学大学院医系科学研究科
薬学部卒業 澤井 泰宏さん

アルバイトで幅広い業種を経験しよう

居酒屋のキッチン、イベントスタッフ、結婚式の披露宴会場、古本屋でのアルバイトを通じて、臨機応変に対応する力を身に付けました。就職すると業種が限定されることが多いので、今のうちにアルバイトでさまざまな経験を積み、多くのことを学ぼう！

取材 佐々木 香奈栄さん

先輩のこれから 地方公務員
文学部卒業 竹馬 佑香さん

抱え込みすぎず周りに相談しよう！

公務員試験で大変な時に、先生の勉強に対する親身な指導、家族や友人の応援が励みになり、心強く頑張り続けることができました。目標通りに試験にも合格し、卒業論文も順調に完成しました。苦しい時は、一人で悩まず、前向きに周りの人に相談しよう！

取材 李 午梅さん

先輩のこれから 航空会社勤務
総合科学部卒業 田松 夏実さん

どんな経験もプラスにやらない後悔はなし！

音楽や留学など、興味・関心事は全てチャレンジ。不安になることもあったけど、どんな結果もプラスになりました。大学生はまだ失敗しても許される年齢。自分の思いを尊重して、やりたいことは全部やり切って卒業してほしいです！

取材 助永 百花さん

先輩のこれから 広島大学大学院先端物質科学研究科
理学部卒業 田村 遼平さん

リーダーになる経験で大きく成長できる

3年の時、1年間ギタークラブの部長を務めました。1、2年の頃は漫然と過ごしてしまいましたが、部長になりクラブ内で食い違う意見をまとめる中で成長することができました。皆さんも一度、人をまとめる立場を経験してみると良いかもしれません。

取材 廣瀬 佑太さん

先輩のこれから 機械メーカー勤務
工学研究科 博士課程前期修了 市山 和明さん

海外インターンに挑戦自分の視野を広げよう

CICE※インターンでマレーシアの大学へ。文化も専門も異なる学生と交流することで、自分の視野が広がりました。海外で知り合った友人とは今でもFacebookなどで連絡を取り合う仲。皆さんもぜひ、いろいろな人と話してみてください。

※CICE…広島大学教育開発国際協力研究センター

取材 竹林 英実さん

先輩のこれから 教育学研究科 博士課程後期
教育学研究科 博士課程前期修了 ムティア クスマワティさん

言語の違いを気にせず積極的に国際交流！

日本語を学ぶため、インドネシアから教育学研究科日本語教育学専攻に進学。広島大学には日本語を話せる外国人が多いので、英語に自信がない人も留学生などと触れ合い、価値観を広げ、学生生活を豊かにしてほしい！

取材 山下 奈那子さん

先輩のこれから 広島大学大学院工学研究科
工学部卒業 藤原 丈一朗さん

自分にぴったりのコミュニティを探そう！

1年の間は、自分に合ったコミュニティを気軽に探せる期間！部活、サークル、バイトなどいろいろ試しながら、目標となる人や気の合う仲間を見つけて大学生活を充実させよう！

取材 山本 昌奈実さん

先輩のこれから 専門商社（石油化学）勤務
国際協力研究科 博士課程前期修了 畑 美咲子さん

興味があることにどんどんチャレンジ！

学部時代はカナダへ留学、大学院では青年海外協力隊と広島大学の連携プログラムでザンビアに2年間滞在するなど、興味を持ったことに挑戦し続けてきました。一度しかない学生時代、少しでも興味があればチャレンジしてみよう！

取材 柳 千晶さん

HU TOPICS

大学院再編－新しい二つの研究科がスタート

2019年4月、大学院統合生命科学研究科と大学院医系科学研究科の二つの新しい研究科を開設しました。広島大学の大学院再編計画の一環で、現在11ある研究科は、2020年春に5研究科に再編。分野の垣根を超えて、研究・教育を展開しやすい環境を整備します。
大学院統合生命科学研究科は、先端物質科学研究科、生物圏科学研究科、総合科学研究科、理学研究科の4研究科の7専攻（一部を含む）を再編し、1専攻で構成します。発展・変革し続ける生物学・生命科学系の研究領域に迅速に適応し、他の研究分野とも柔軟に融合・連携しながら、イノベーション創出を目指します。
大学院医系科学研究科は、既存の医歯薬保健学研究科を再編し、従来の5専攻を2専攻とします。医学・歯学・薬学・保健学の4分野における基盤的研究の深化と分野間の連携・融合を図り、生命医科学の急速な進歩と医療技術の高度化に迅速に対応する先端的な教育研究を推進します。

統合生命科学研究科（上）と医系科学研究科（右）の看板除幕式の様子

SDGsに対するアンケートを実施

広島大学では、SDGｓ（持続可能な開発目標）に対する学生主体の取り組みに力を入れています。1月にSDGｓへの学生認知度やアクションの実態について、学生が主体となって調査を行いました。アンケート結果からは、SDGｓに対して認知はあっても行動に移せていない学生が一定数いることが分かりました。今後も当調査結果を基に、改善できるような企画を検討していく予定です。

第3回広島大学SDGｓシンポジウム

障がいの有無に関わらず、誰でも楽しめる！広島大学の新しいヨット「ハンザクラス・リバティ」の進水式を行いました。

1月27日、観音マリーナ（広島市西区）で、広島大学が購入した新しいヨット「ハンザクラス・リバティ」の進水式が行われました。
「ハンザ」とは小型の1～2人乗りのヨットで、誰でも乗れるようにと考案されたものです。古澤副学長は「広島大学は、障がいのある学生への支援に力を入れている。スポーツの分野でも、障がいの枠を超えたダイバーシティ（多様性）を進めていきたい」と語りました。

ヨット部の学生らによる進水式の様子

広島大学グローバルキャリアデザインセンター設立20周年記念式典・シンポジウムを開催しました

2月21日、広島大学グローバルキャリアデザインセンター設立20周年記念式典・シンポジウムを開催しました。記念式典では越智学長による式辞、文部科学省高等教育局学生・留学生課の成相課長補佐による祝辞が述べられ、江坂センター長から20年の歩みが紹介されました。シンポジウムでは成相課長補佐、立命館大学の西山教授による基調講演や、「大学におけるキャリア教育とキャリア支援のさらなる充実を目指して」をテーマにしたパネルディスカッションが行われました。学内外から116人にご参加いただき、盛会のうちに終了しました。

パネルディスカッションの様子

広島大学タマチラボを開催しました

広島大学タマチラボ「情報科学のワンダーランド」が、東京・港区の広島大学東京オフィス（キャンパス・イノベーションセンター東京）でスタートしました。
広島大学情報科学部の教員がAIやデータサイエンスの基礎と応用について分かりやすく紹介する公開セミナー。2019年3月までの間に計5回開催し、多くの方に参加いただきました。セミナー終了後は懇親会を開催し、研究者と交流できる機会を設けました。
2019年度も開催する予定ですので、奮ってご参加ください。

広島大学呉サテライトを開設しました

1月30日に、広島大学呉サテライトを呉市役所庁舎内に開設しました。総合相談窓口となるサテライトオフィスと、学生・教職員が打ち合わせなどに用いるミーティングルームを有し、今後、呉地域における教育研究拠点として活用します。
設置に先立って行われた覚書調印式には広島大学の越智光夫学長、呉市の新原芳明呉市長が出席し、それぞれ覚書に署名しました。また、3月7日には設置記念シンポジウムを開催し、呉地域の住民など約300人が参加しました。

覚書に署名した越智光夫学長(左)と新原芳明呉市長(右)

ノーベル賞受賞者などを招いた講演「知のフォーラム」東京、広島で開催

1月9日、東京国際フォーラムで「広島大学知のフォーラム in Tokyo」を開催しました。自由民主党政調会長 岸田文雄衆議院議員、文部科学省山脇良雄文部科学審議官による来賓挨拶の後、ノーベル生理学・医学賞受賞者のポール・ナース博士による特別講演を行いました。本学からは、越智学長による大学紹介と生命科学・医療系分野で国際的に活躍する5人の研究者による講演を行いました。その一人、山本卓教授は、昨年度、文部科学省の卓越大学院プログラムに採択された「ゲノム編集先端人材育成プログラム」の公開セミナーとして、本学におけるゲノム編集の研究と教育について講演を行いました。
また3月11日には、昨年7月の西日本豪雨災害による影響で延期とされていた、ノーベル物理学賞受賞者の天野浩博士による「知のフォーラム」を、東広島キャンパスサタケメモリアルホールで開催。「Transformative Electronicsが築く未来社会」と題した講演には学生をはじめ、多数が参加。世界トップレベルの最先端の研究に耳を傾けました。

天野浩博士による講演

夏の風物詩「ゆかたまつり」今年は6月30日に開催

広島大学東広島キャンパスでは、6月30日に「ゆかたまつり」を開催します。
毎年、広大生や地域住民の浴衣姿でキャンパスが彩られ、広島大学の夏の風物詩となっています。
24回目となる今年も、皆さんに楽しんでいただけるお祭りになるように、広大生の大学祭実行委員会を中心に一生懸命準備を進めています。ぜひ浴衣を着て、キャンパスまで足をお運びください！
最新情報はこちら
（大学祭実行委員会ホームページ）
http://hu-festival.main.jp/

人工芝グラウンド「東広島ドリームフィールド」が完成

公益財団法人広島県サッカー協会の協力により、広島大学南グラウンド（サッカー場）に人工芝が整備され、「東広島ドリームフィールド」と命名されました。4月3日に行われた人工芝改修工事竣工式典には、広島大学体育会男子サッカー部・女子サッカー部とサンフレッチェ広島ユースの選手たちも参加。越智学長、広島県サッカー協会最高顧問・野村尊敬氏らがテープカットをした後、記念のテストマッチが行われました。今後、広島大学の授業・課外活動、広島県サッカー協会主催の行事などで活用される予定です。

広島大学デジタルものづくり教育研究センターを設置

2月1日、広島中央サイエンスパーク内のひろしま産学共同研究拠点に「デジタルものづくり教育研究センター」を設置しました。
当センターは「材料モデルベースリサーチ部門」、「データ駆動型スマートシステム部門」の2つの部門を設置し、モデルベースによる材料研究や制御・生産プロセスのスマート化などに係る研究開発と人材育成を幅広く推進していきます。また、地域レベルでイノベーションを実現していく本格的な産学連携システムの構築を目指します。

センターが入る施設前にて。
センター長（中央）とメンバーによる記念撮影

越智学長が再任の記者会見を行いました

越智光夫学長は、4月2日、東広島キャンパス法人本部棟で理事ら同席のもと、再任の記者会見を行いました。越智学長は会見で「平和の大学として広島大学は何をするのか、今後も具体的な形で示していきたい」「広島大学が誇れる研究拠点には積極的に資源の投入をしていく」と意気込みを語りました。会見に先立ち、教職員に対して所信表明も行いました。

学位記授与式（卒業式）、入学式を挙行

3月23日、学位記授与式（卒業式）を東広島運動公園体育館で挙行しました。学部生2,473人、専攻科生15人、大学院生1,315人が卒業・修了。越智学長から卒業証書・学位記が授与されました。式典終了後には、会場の外で卒業生・修了生が別れを惜しみながら記念写真を撮ったり、駆け付けた後輩たちから胴上げをされたりする光景が見られました。
4月3日、入学式を東広島運動公園体育館で挙行しました。学部生2,528人、専攻科生11人、大学院生1,457人が入学。越智学長は式辞で「大変革の時代にある今こそ、大学ではhow（どのような方法で）と物事のwhy（どうしてなのか）をじっくり考えてほしい」と新入生を激励しました。式典終了後には、オペラ歌手の中丸三千繪さんによるミニコンサート、広島大学ゆかりの著名人3人からのサプライズビデオメッセージもあり、新入生の新たなスタートを祝福しました。

つながる! ひろがる! ひろしまの輪

広島大学と地域の皆さんの間につながりが生まれ、広がる中で、新たな発見がきっとあるはず。
「ひろしまの輪」では、地域の皆さんと広島大学で一緒に取り組む活動や
さまざまなイベント情報をお届けします。

ひとむすび

広大生がつなぐ東広島のきずな

東広島 ひとむすび

毎月最終日曜日、西条中央公園などで開催される「ひとむすびの場」。学生団体「東広島ひとむすび」が主催するマーケットで、出店者募集から集客用のビラ作りと配布、装飾まで自前で行います。農家やパン屋さん、花屋さんなど、さまざまな方と一緒につくり上げることをモットーとし、現在ご協力いただいているのは約70店舗。イベントを通じて出店者とお客さんの間につながりが生まれ、人の輪が広がっています。また、地域の自然体験や文化に触れる機会を子どもたちに提供するスクールや地域のお店・イベント情報を発信する活動なども行っています。「地域の方のお話を聞いて視野が広がった時や、スクールに参加した子どもたちに『楽しかった』と言ってもらえた時にやりがいを感じます」とマーケット担当の柚木和也さん(法学部3年)。これからも「ひとむすび」は人と人を結び、地域内の「ひと・もの・かね」の循環を促す活動を行っていきます。

Information

5・6月のイベント情報

マーケット(ひとむすびの場)	スクール(田植え体験)
5月26日(日)/6月30日(日) 10:00〜15:00	6月(日付未定)

https://hhhitomusubi.net/

ひとむすびの場には家族連れなど多くの人が訪れています

地域工務店とコラボ!つながりの家「SUKU*SUKU+」(モデルハウス)

工学研究科 角倉 英明 研究室×しおた工務店

「SUKU*SUKU+」の設計ポイントである吹き抜け

2018年6月のオープン以降、多くの見学者が訪れるしおた工務店のモデルハウス「SUKU*SUKU+(すくすく)」。角倉准教授の提案で、学生が中心となって設計を行いました。プロジェクトが始動したのは2016年9月。学生たちはワークショップや報告会を何度も重ね、若い世代が望む住宅のかたちを検討。採用された博士課程前期2年(当時)松下健祐さんらの設計案は、2階リビングと1階のダイニング・キッチンが吹き抜けによってつながり、広い土間を設けています。今回の取り組みは学生、工務店、双方にとって貴重な経験となりました。角倉研究室では、ヒトから建築・まちを考えるという基本スタンスのもと、今後も共同プロジェクトを積極的に進めるそうです。同研究室ではすでに、新たな住宅の基本設計や瀬戸内海の島しょ部の集落再生などに取り掛かっています。

Information

プロジェクトメンバー:工学研究科建築学専攻　教員2人、学生18人/しおた工務店8人
[モデルハウス] 住所:安芸高田市吉田町常友144-14　オレンジタウン
営業時間:10:00〜17:00

Reader's View

HU photos

#広島大学への投稿からお届けします。

2019.2.7

#男の手料理 #男飯 #もつ鍋#大学院
#大学院生#大学院生活#日常#笑顔
#hiroshimauniversity

投稿者:うみの研 さん

2019.3.4

#広島大学体育会体操部 #転回
#更なる高みへ #大学始め
#実は #跳馬が #一番撮るの難しい

投稿者:広島大学体操部 さん

投稿募集中!

HU photos

広島大学にまつわる写真を#広島大学をつけてInstagramに投稿してください。学生生活のワンシーンや何気ない風景など、テーマは何でもOK!素敵な写真をお待ちしています。

HU ism

広島大学にまつわるちょっとした逸話やエピソードをアンケートにて募集します。あの頃の懐かしい思い出話や誰かに教えたくなる広島大学の秘密を教えてください。

投稿はこちら

投稿が掲載された方には
広大オフィシャルトートバッグをプレゼント!

WEBアンケートにご協力ください

読者の皆さんからのご意見、ご要望、情報提供をお待ちしております。いただいたアンケート内容は、今後の誌面づくりに活用させていただきます。また、お寄せいただいたメッセージは、次号以降の本誌の中でご紹介させていただく場合があります。

WEBアンケートはこちら
HU-plus 検索

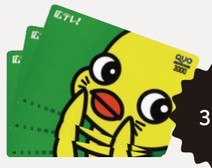
[読者プレゼント] アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で合計8名様にプレゼント!!
※応募締切:2019年7月31日必着　厳正な抽選の上、商品の発送をもって当選の発表とさせていただきます。

Ⓐ 漫画『島耕作』シリーズ
弘兼憲史さん直筆サイン入り本(1冊)

© 弘兼憲史／講談社

2名様

Ⓑ 広島テレビ オリジナルクオカード
3000円分(1枚)



3名様

Ⓒ 広島大学×カープ コラボTシャツ
(レッド／S・M・Lサイズいずれか1枚)

3名様

広島銘菓
せとこまち
広島大学・尾道市と弊社にしき堂が共同開発した広島銘菓「せとこまち」をご賞味ください。
広島大学
にしき堂
本店/広島市東区光町1丁目13-23 ☎(082) 262-3131(代)
https://www.nishikido.co.jp Eメール info@nishikido.net
TEL 0120-979-161(8:00〜18:00) FAX 0120-963-161

広島お好み焼、焼きませんか。
お好み焼体験スタジオ
OKOSTA(オコスタ)
本格的な鉄板でお好み焼づくりを体験!
家族や友人と思い出の1枚を。
JR広島駅直結だから便利!
OTAFUKU
予約など詳細はWEBをチェック!
オコスタ

広島大学 協定校
公認 広島県公安委員会指定
東広島自動車学校
東広島市西条町郷曽1127-22
TEL.082-425-1110
http://higashi-ds.com
公認 広島県公安委員会指定
賀茂自動車学校
東広島市西条中央3-7-13
TEL.082-422-1100
http://www.kamo-ds.com/

広島大学への寄附にご協力いただき、深く感謝申し上げます。

広島大学基金

※広島大学が躍動し広島の地を活性化させる基金（広島大学75+75周年に向けて）を含む

高額のご寄附をいただいた方（累計額100万円以上）

佐竹 利子 様
「特別栄誉学賓」

公益財団法人
広島大学教育研究支援財団
理事長
佐竹 利子 様

財団法人渋谷育英会
理事長
小丸 法之 様
「名誉校友」

矢野 博丈 様
「学賓」

畫馬 輝夫 様
「名誉校友」

医療法人あかね会
理事長
土谷 晋一郎 様
「名誉校友」

医療法人社団
浜中皮ふ科クリニック
理事長
浜中 和子 様
「名誉校友」

小野 光代 様

児玉 治 様
「名誉校友」

越智 光夫 様
「名誉校友」

医療法人社団玄同会
理事長
小畠 敬太郎 様
「名誉校友」

医療法人せのがわ
理事長
津久江 一郎 様
「名誉校友」

医療法人多布施クリニック
理事長
諸隈 啓子 様
「名誉校友」

社会医療法人社団沼南会
理事長
檜谷 鞠子 様
「名誉校友」

田中 隆荘 様

三嶋 弘 様
「名誉校友」

医療法人社団みめぐみ会
サンクリニック
理事長
中村 雄二 様
「特別校友」

医療法人社団仁慈会
理事長
安田 克樹 様
「特別校友」

医療法人恒和会松石病院
理事長
松石 頼明 様
「特別校友」

医療法人辰川会
理事長
辰川 自光 様
「特別校友」

医療法人社団知仁会
理事長
石井 知行 様
「特別校友」

医療法人社団井野口病院
会長
井野口 千秋 様
「特別校友」

医療法人社団梶山小児科
理事長
梶山 泰正 様
「特別校友」

株式会社村上農園
代表取締役
村上 清貴 様
「特別校友」

社会医療法人社団陽正会
寺岡記念病院
理事長
寺岡 暉 様
「特別校友」

星山 政昭 様
「名誉校友」

勝矢 博 様
「特別校友」

医療法人ワカサ会理事長
若佐 直定 様
「特別校友」

株式会社シンコー
代表取締役社長
筒井 幹治 様
「特別校友」

児玉 眖子 様
「特別校友」

佐藤 利行 様
「特別校友」

坂下 勝 様
「特別校友」

医療法人みなみ会
理事長
星野 修司 様
「特別校友」

浅原 利正 様

医療法人サカもみの木会
理事長
坂 信一 様
「特別校友」

株式会社バルコム
代表取締役
山坂 哲郎 様
「特別校友」

温泉川 梅代 様
「特別校友」

Micron Technology Foundation, Inc. 様
「特別校友」

医療法人ピーアイエー
理事長
中村 英雄 様
「特別校友」

広島大学消費生活協同組合
理事長
細野 賢治 様

パラカ株式会社
代表取締役
内藤 亨 様
「特別校友」

医療法人社団清流会
理事長
永井 賢一 様
「特別校友」

医療法人社団輔仁会
太田川病院
理事長
満田 浩二 様
「特別校友」

株式会社紀陽
代表取締役社長
寒川 起佳 様
「特別校友」

河野 修興 様
「特別校友」

山本 佳史 様
「特別校友」

石原 舜三 様
「特別校友」

医療法人社団長寿会
はたのリハビリ整形外科
理事長
畑野 栄治 様
「特別校友」

茶山 一彰 様
「特別校友」

大池 久子 様
「特別校友」

山本 陽介 様
「特別校友」

株式会社立芝
代表取締役
向井 恒雄 様
「特別校友」

医療法人社団まりも会
ヒロシマ平松病院
理事長
平松 廣夫 様
「特別校友」

相田 美砂子 様
「特別校友」

相原 玲二 様
「特別校友」

アカシア会
（広島大学附属高校同窓会）様
「特別校友」

石井 知行 様
「特別校友」

石﨑 信三 様
「特別校友」

村上 恒二 様
「特別校友」

医療法人あすか
理事長
高橋 勲 様
「特別校友」

医療法人社団中川会
呉中通病院
副院長
中川 豪 様
「特別校友」

内野 弘 様
「特別校友」

鵜野 俊雄 様
「特別校友」

梶山 泰正 様
「特別校友」

片山 純一 様
「特別校友」

株式会社桐原容器工業所
代表取締役
桐原 真一郎 様
「特別校友」

株式会社中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「特別校友」

株式会社内藤建築事務所
代表取締役
川本 雄三 様
「特別校友」

株式会社にしき堂
代表取締役社長
大谷 博国 様
「特別校友」

神谷 研二 様
「特別校友」

小池 透 様
「特別校友」

佐藤 裕子 様
「特別校友」

重山 俊彦 様
「特別校友」

鈴木 孝尚 様
「特別校友」

住田 忠幸 様
「特別校友」

高田 隆 様
「特別校友」

寺本 康俊 様
「特別校友」

天道 俊孝 様
「特別校友」

土肥 博雄 様
「特別校友」

野上 智行 様
「特別校友」

早川 武敏 様
「特別校友」

平田 敏夫 様
「特別校友」

広島アルミニウム工業株式会社
代表取締役社長
田島 文治 様
「特別校友」

広島県厚生農業協同組合連合会
尾道総合病院 様
「特別校友」

有限会社 宇恵多
代表取締役
上田 邦惠 様
「特別校友」

横崎 恭之 様
「特別校友」

吉田 総仁 様
「特別校友」

2018年3月から2019年2月までにご寄附をいただいた方

●100万円以上

佐竹 利子 様
「特別栄誉学賓」

公益財団法人
広島大学教育研究支援財団
理事長
佐竹 利子 様

矢野 博丈 様
「学賓」

小野 光代 様

医療法人社団
浜中皮ふ科クリニック
理事長
浜中 和子 様
「名誉校友」

医療法人社団玄同会
理事長
小畠 敬太郎 様
「名誉校友」

社会医療法人社団沼南会
理事長
檜谷 鞠子 様
「名誉校友」

医療法人社団梶山小児科
理事長
梶山 泰正 様
「特別校友」

児玉 眖子 様
「特別校友」

勝矢 博 様
「特別校友」

広島大学消費生活協同組合
理事長
細野 賢治 様

アカシア会
（広島大学附属高校同窓会）様
「特別校友」

医療法人社団
医療法人サカもみの木会
理事長
坂 信一 様
「特別校友」

内野 弘 様
「特別校友」

鵜野 俊雄 様
「特別校友」

株式会社桐原容器工業所
代表取締役
桐原 真一郎 様
「特別校友」

株式会社シンコー
代表取締役社長
筒井 幹治 様
「特別校友」

株式会社バルコム
代表取締役
山坂 哲郎 様
「特別校友」

高田 隆 様
「特別校友」

土肥 博雄 様
「特別校友」

パラカ株式会社
代表取締役
内藤 亨 様
「特別校友」

広島県厚生農業協同組合連合会
尾道総合病院 様
「特別校友」

村上 恒二 様
「特別校友」

山田 道夫 様
「特別校友」

●10万円以上100万円未満

大竹 美喜 様
「特別校友」

奥田 晃章 様
「特別校友」

株式会社立芝 様
「特別校友」

寺本 康俊 様
「特別校友」

広島大学病院
診療支援部
診療放射線技師一同 様

藤村 欣吾 様
「特別校友」

丸山 恭司 様
「特別校友」

渡邊 聡 様
「特別校友」

荒本 徹哉 様

医療法人社団仁慈会
理事長
安田 克樹 様
「特別校友」

河原 能久 様

島田 賢也 様

三嶋 弘 様
「名誉校友」

浅原 利正 様

一戸 辰夫 様

上原 義徳 様

小澤 孝一郎 様

佐々木 元 様

住田 佳樹 様
「特別校友」

高野 幹久 様

田中 純子 様

土谷総合病院
院長
土谷 治子 様

中西 一義 様
「特別校友」

堀田 泰司 様

山脇 成人 様

力田 忠義 様
「特別校友」

安達 伸生 様

粟井 和夫 様

大毛 宏喜 様

大段 秀樹 様

河本 昌志 様

久保田 洋志 様

栗栖 薫 様

酒井 規雄 様

坂口 剛正 様

髙谷 紀夫 様

高橋 超 様

瀧 敦弘 様

竹本 俊伸 様

田妻 進 様

田中 伸和 様

谷本 幸太郎 様

二川 浩樹 様

濱田 泰伸 様

藤井 輝久 様
「特別校友」

丸山 博文 様

内田 龍彦 様

片岡 伸夫 様

久保 忠彦 様

●10万円以上100万円未満（続き）

三枝 省三 様

下田 修二 様

田中 信弘 様

野田 孝夫 様

松尾 裕彰 様

盛井 隆 様

山崎 琢磨 様

広島大学生物生産学部
附属練習船
豊潮丸乗組員一同 様

飯田 幸治 様

飯田 慎 様

池永 孝 様
「特別校友」

医療法人社団
上田整形外科
理事長
上田 久司 様

医療法人
松野整形外科医院 様

上原 茂行 様

片山 賀彦 様

加藤 功一 様

金丸 昭治 様

兼松 隆 様

株式会社アクアネット
代表取締役
民谷 昌弘 様

株式会社ハマダ
代表取締役
濵田 忠彦 様

菊間 秀樹 様

木村 榮一 様

古賀 和徳 様

小林 公司 様

迫 和弘 様

佐野 庸治 様

三本木 至宏 様

柴 秀樹 様

白川 泰山 様

新谷 公伸 様

杉村 功 様

杉山 勝 様

高嶋 俊治 様

竹中 生昌 様

竹林 守 様

田中 宏 様

丹根 一夫 様

津賀 一弘 様

東儀 宣哲 様
「特別校友」

戸田 正弘 様

戸田工業株式会社 様

中尾 三和子 様

中谷 久惠 様

中前 敦雄 様

難波 英子 様

新納 昭高 様

西中 カフミ 様

畑尾 武海 様

平田 信太郎 様

部谷 正人 様

水田 勉 様

水野 正晴 様

宮本 勝也 様

宮本 博子 様

ミリアグループ株式会社
代表取締役
沼田 和宏 様

保田 博 様

安永 裕司 様

山根 温子 様

山本 啓一 様

結城 清 様

養老整形外科クリニック 様

吉岡 聖起 様

渡邉 篤 様

●10万円未満

今薗 靖博 様

小川 由布子 様

小倉 敏 様

川田 和徳 様

金田一 清香 様

兒玉 祥 様

D&X株式会社
代表取締役社長
董 国斌（ドン ゴドン）様

中島 祐子 様

信末 一之 様

橋本 涼太 様

濱口 祥世 様

檜垣 重俊 様

広島大学病院
10階東病棟
看護師一同 様

古橋 道子 様

真鍋 英喜 様

森 美菜子 様

横矢 晋 様

河野 幹章 様

髙橋 康明 様

広島大学病院
6階西病棟 様

天津 一也 様

石田 雅人 様

医療法人社団
福原医院
檜山 桂子 様

大木 洋 様

香川 基吉 様

柿本 直也 様

片山 真由美 様

加藤 富子 様

川野 知子 様

岸 宏一 様

正法地 孝雄 様

中塚 博文 様

中森 勝 様

森信建設株式会社
代表取締役
森信 秀樹 様

山崎 護 様

山崎 正数 様

横田 真由香 様

石川 学 様

安藤 伸子 様

飯沼 敦朗 様

伊藤 直康 様

大平 祥広 様

大守 美香 様

岡田 賢 様

隈川 誠司 様

小村 幸友 様

齋藤 修 様

佐々木 清 様

佐藤 崇文 様

杉田 清治 様

高石 佳知 様

谷 友博 様

中川 直樹 様

中村 将也 様

中本 達哉 様

西口 千登志 様

延永 計介 様

林 道義 様

平川 裕 様

平田 勝裕 様

福原 則夫 様

古橋 進哉 様

堀江 加代美 様

松尾 淳 様

三木 大樹 様

宮林 豊 様

八木 誠一郎 様

山下 明子 様

吉田 光由 様

吉田 ゆかり 様

大賀 裕見子 様

大久保 榮 様

浜野 真大 様

屋敷 太郎 様

江村 有紀 様

岸本 紀昭 様

赤木 幹徳 様

穐丸 壽美 様

浅野 肇 様

安部倉 仁 様

安東 善博 様

池上 隆志 様

池田 節子 様

石井 美智子 様

石橋 堅 様

市川 恭詳 様

一般社団法人
エノモト 様

伊藤 嘉彦 様

稲田 修三 様

今岡 実 様

医療法人社団ひかり会
木村眼科内科病院
理事長
木村 徹 様

医療法人春和会
理事長
増田 明敏 様

岩下 未咲 様

上田 純也 様

上原 巌 様

内木 恵子 様

榎本 暢之 様

遠藤 進 様

大坂 香代 様

大杉 健 様

岡田 茂 様

小川 隆道 様

織田 悦爾 様

香川 和子 様

門築 保 様

金田 耕二 様

川口 敏明 様

川口 浩史 様

川本 隆夫 様

菅尾 伸二 様

北澤 利明 様

草野 浩一 様

國川 美智子 様

窪田 利定 様

栗田 健志 様

小林 節郎 様

小林 宏章 様

小武家 誠司 様

小宮山 道夫 様

近藤 雅美 様

近藤 真帆 様

芝 享 様

白石 聡 様

新山 兵衛 様

杉浦 啓太 様

杉原 正樹 様

鈴木 敏夫 様

瀬畑 敬文 様

蝉谷 元万 様

園田 峰加 様

高橋 恵士 様

武村 文勝 様

田﨑 權一 様

田中 智夫 様

玉井 京子 様

田利 倫子 様

柄 博紀 様

土谷 真三 様

出原 公和 様

土井 一矢 様

中井 智司 様

永井 俊治 様

中島 千恵 様

野田 省三 様

波藤 昭洋 様

濵口 郁央 様

原林 滋子 様

原屋 寛之 様

比嘉 進 様

日比野 貞勝 様

広島大学病院
ＩＣＵ看護師一同 様

福島 律子 様

福永 秀春 様

福本 航 様

藤井 紀子 様

藤田 正幸 様

藤原 尚 様

堀内 賢二 様

牧原 勇介 様

松井 研司 様

丸田 温子 様

丸山 真理子 様

三浦 省五 様

三浦 均 様

明神 宣之 様

旨森 章雄 様

森 隆浩 様

森定 宏之 様

森田 晃司 様

森谷 孝史 様

八木 資義 様

山内 良介 様

山住 誠 様

山田 輝和 様

山田 昭仁 様

有限会社原パーツ商会
山田 輝和 様

吉田 省三 様

頼島 令子 様

和田 章 様

渡邊 俊成 様

穴吹 隆士 様

安藤 圭吾 様

一丸 八郎 様

井上 律己 様

魚森 謙也 様

大久保 朋子 様

大野 隆行 様

大政 百恵 様

小笠原 洋一 様

金本 満 様

川口 美紀 様

木田 徳司 様

木村 順一 様

小出来 敬三 様

後藤 千晴 様

齋藤 拓也 様

佐藤 光昭 様

清水 明彦 様

髙橋 信也 様

田島 正好 様

田中 敬子 様

中畑 丈晴 様

中村 平 様

西原 久雄 様

羽生 和夫 様

引地 龍吾 様

平本 孝義 様

松島 光作 様

松野 伸治 様

松本 美恵子 様

山下 寛 様

塩本 文夫 様

高橋 康平 様

東山 晃士 様

桝井 佩瑳子 様
ウニヤル ビッツリ プラサード 様

松田 和也 様

冠事業基金

（2018年3月から2019年2月までにご寄附をいただいた方）

2015年度から新たに、寄附をいただいた方のご芳名などを冠して、寄附者様のご厚意が見える形にした「広島大学冠事業基金」を創設しました。寄附方法は、一口5万円の毎月の継続寄附で、当面は外国人留学生への奨学金と日本人学生への海外留学資金に活用します。

医療法人 S.R.C. 中光整形外科
リハビリクリニック
院長
中光 清志 様
「特別校友」

医療法人エム・エム会
理事長
白川 泰山 様
「特別校友」

医療法人おち眼科医院
理事長
越智 温子 様
「特別校友」

医療法人
KOC 金谷整形外科クリニック
理事長
金谷 篤 様
「特別校友」

医療法人社団楓会
林病院
理事長
林 淳二 様
「特別校友」

医療法人社団慈恵会
いまだ病院
院長
大杉 健 様
「特別校友」

医療法人社団仁慈会
理事長
安田 克樹 様
「特別校友」

医療法人社団
スマイル博愛クリニック
理事長
髙杉 啓一郎 様
「特別校友」

医療法人社団清流会
理事長
永井 賢一 様
「特別校友」

医療法人社団マッキー
理事長
松木 啓 様
「特別校友」

医療法人社団まりも会
理事長
平松 廣夫 様
「特別校友」

医療法人昭和
原田整形外科病院
理事長
原田 昭 様
「特別校友」

医療法人せいざん青山病院
院長
大村 泰 様
「特別校友」

医療法人明笑会
理事長
安本 正徳 様
「特別校友」

オタフクソース株式会社
代表取締役社長
佐々木 直義 様
「特別校友」

株式会社紀陽
代表取締役社長
寒川 起佳 様
「特別校友」

株式会社総合広告社
代表取締役副会長
坪井 高義 様
「特別校友」

株式会社ダイクレ
代表取締役社長
山本 浩 様
「特別校友」

株式会社にしき堂
代表取締役
大谷 博国 様
「特別校友」

株式会社バルコム
代表取締役
山坂 哲郎 様
「特別校友」

株式会社やまだ屋
代表取締役
中村 靖富満 様
「特別校友」

大正富山医薬品株式会社
代表取締役社長
藤田 憲一 様
「特別校友」

戸田工業株式会社
取締役社長
寶來 茂 様
「特別校友」

大谷 美奈子 様
「特別校友」

越智 光夫 様
「名誉校友」

坂下 勝 様
「特別校友」

佐藤 利行 様
「特別校友」

中村 英雄 様
「特別校友」

ご芳名は、公開についてご承諾いただいた方を掲載させていただいています。
掲載している情報は、ご寄附当時のものです。